

小学校1・2年生

「きほんてき基本的な学がく習しゅう習しゅう慣かんを身みに付つける時期じき」

学習のポイント

- ◇ じかんをきめ、ゆうごはんまえにしゅくだいをおわらせる。
- ◇ まいにち30分くらい、かんがえてべんきょうする。
- ◇ しゅくだいやれんらくぶつを、かぞくにみせる。
- ◇ じかんわりやもちものを（かぞくと）じゅんびする。

家庭学習の内容（例）

【こくご】

- 「、」「。」にきをつけて、おおきなこえですらすらよめるように おんどくをする。（まいにち）
- かきじゅんにきをつけて、ひらがな、カタカナ、かんじのれんしゅうをする。（ていねいに ゆっくりと）

【さんすう】

- たしざん・ひきざん・かけざん(九九)など、ただしく、はやく けいさんできるようにれんしゅうする。（けいさんカードなど）
- まちがったもんだいは、やりなおして、わかるようにする。
- とけいでじこくをよむ。

【そのた】・・・やすみのひなど

- けんぱん/ハーモニカのれんしゅうをする。
- えほんなど、かんたんなほんをよむ。
- たのしかったことやうれしかったことを、につきなどにかく
- いきものやくさばなのかんさつをして、えやぶんでかく。
- 「タブレット」でドリルパークなどのもんだいにとりくむ。

＜家庭での支援＞

- ・ 学習を始める前にテレビなどを消します。静かな学習環境をつくりましょう。
- ・ 興味・関心・学年に応じた本を子どもの近くに置いておきましょう。（家族による読み聞かせなどもお勧め）
- ・ 箸や鉛筆の持ち方、座る姿勢、身の回りの整理整頓など、身辺自立の力をこの時期に身に付けさせましょう。
- ・ 終わった宿題や学校からの連絡やお便り、明日の準備等を子どもと一緒に確かめ、一人で準備ができるように育みましょう。放課後子ども教室（プラン）で宿題をしてきた場合でも、音読や計算カードはご家庭で、必ず聞いてください。
- ・ 学習時間を決めさせ、学習中はできるだけそばにいて、ほめたり、アドバイスしたりしましょう。
- ・ 一緒に買い物をしたり、時計を読んだりしながら、子どもの生活経験を豊かにしていきましょう。

＜ゲーム機やタブレット等の使用、動画等の視聴について＞

- ・ 大人が内容を確認して、使わせたり見せたりしましょう。
- ・ 「1日〇〇分まで」「使っていい時間を守る」など「わが家の約束」を決め、ルールを守って使わせましょう。
- ・ ゲーム・動画等の内容や、家庭でのルールが守られているかについて、目を配りましょう。



「早寝早起き」、「規則正しい食事」、「朝の排便」など基本的な生活習慣を身に付けることは、学習習慣の定着に欠かせません。また、外遊びなどを通して運動経験を豊かにしていく時期でもあります。

「読み、書き、計算」の基礎的・基本的な内容を学習する時期です。繰り返し丁寧に学習することが大切です。